

District 2770



イマジン

ロータリー

会長：小林 賢弘
幹事：北林 隆一

Weekly Report

2022~2023 越谷東RC運営方針

●感謝と恩返しの輪を広げよう

2022~2023 RIテーマ

●イマジン ロータリー

越谷東
ロータリークラブ

創立1987年5月18日



〈例会日〉 毎週木曜日 12:30~13:30
〈事務局〉 〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-7-1 (NTT東日本 越谷ビル2F)
☎ 048-965-2037 ☎ 048-965-2011
<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

第1737回例会 2023年6月22日

司会：会場運営委員会/守屋トミー
会報No.1523号/担当：委員一同

会員数：56名/出席数：31名
出席率：64.60%

ロータリー親睦活動月間 本日のビジターゲスト



一般社団法人 越谷市観光協会
新井 進 様



株式会社 柳生RPlus 代表取締役
霜田 伸彦 様

- ◆黙 想
- ◆開会点鐘 会長 小林 賢弘
- ◆ロータリーソング斉唱 「我らの生業」
- ◆クラブソング斉唱 「クラブ賛歌」(1番)
- ◆ビジターゲスト紹介 会長 小林 賢弘
- ◆ビジターゲスト挨拶
株式会社 柳生RPlus 代表取締役 霜田 伸彦 様
一般社団法人 越谷市観光協会 新井 進 様
- ◆会長挨拶 会長 小林 賢弘
- ◆幹事報告 幹事 北林 隆一
- ◆委員会報告
- ◆クラブ協議会
(SAA/会計/会計監査/奉仕プロジェクト部門
ロータリー財団/米山記念奨学)
- ◆スマイル報告 社会奉仕委員会 田中 基章
- ◆出席報告 出席委員会 栗屋 裕二
- ◆閉会点鐘 会長 小林 賢弘



会長挨拶

会長 小林 賢弘

6部構成でお話ししてきた「私について語るシリーズ」は今日の「オートバイ編」4回目を以て終了となります。このシリーズで今までとは違う角度から私をご理解いただけたのではないかと思います。



さて、ピュアテックレーシングの仲間たちとモトクロスを始めた私は、月1のペースでレースに参戦しました。桶川のコースを皮切りに千葉県茂原モータースポーツランド、福島県モトスポーツランドしどき、静岡県富士スピードウェイ、群馬県軽井沢モーターパークと各地を転戦しました。レースのない週末は毎日曜練習に行き、夏と冬の年2回いわき市で合宿するほどモトクロスにはまりました。

ロードレースのスタートは、予選タイム順に斜めに横3台ずつ縦に列を作り、レッドシグナルが消えると

同時にスタートします。縦長の列で1コーナーに進入するので、スピードはかなり出ていますが比較的安全です。それに対してモトクロスは、競馬と同様にゲートを前にして横1列に並んだ状態からゲートが倒れるのと同時にスタートするので、狭い1コーナーに横並びのバイクが一斉に突っ込んで行き、エキスパートクラスではそうそう見られませんが、ノービスクラスでは接触して転倒したバイクに後続車が次々に突っ込み転倒したバイクの山ができてしまう光景が珍しくありません。とてもリスクなスタートです。モトクロスの華と言えるのがジャンプですが、これは恐怖との闘いになります。初めはバイクが空中に飛び出すこと自体が恐ろしくて、飛ばずに舐めるように通過して行くのですが、少しずつ空中の感覚に慣れてくると着地の時のタイヤの位置調整が必要となります。下り斜面はフロント着地、平らなら前後同時といった具合です。空中でのアクセルの開閉で調整します。飛ぶ距離の調整もアクセルの開き具合となります。大きなジャンプのように高さを出すには、上り斜面でサスペンションを沈み込ませ踏み切りで伸ばすといった技術も必要になります。言葉にすると簡単に聞こえますが、感覚を体に沁み込ませないとできないことなので、失敗を重ねてレース中や練習中のケガが絶えませんでした。

富士スピードウェイでは、決勝スタート直後3位的好位置に着けたものの2位を抜きに並んだ瞬間コントロールを失った相手にハンドルを絡められ転倒。後続車に次々と轢かれた時、私を轢いたバイクのリヤタイヤに右足首を曲がらない方向に持っていかれるぶしが真っ二つに割れる骨折をしました。「バキン」と音が聞こえました。実際は騒音の中で聞こえる訳がないので感じるのでしょうか。

いわきのレースでは、レース終盤せっかく入賞圏内にいたのに、疲れで握力がなくなった手がアクセルに張りついて戻せなくなり、テーブルトップという頂点が平らの台形型の大きなジャンプを全開のまま踏み切ってしまいました。建物の3階位の高さまで跳ね上がってジャンプ台のはるか先の平らな路面に叩きつけられてしまい背中全面の肉離れとあばらの骨折、右肩を脱臼しました。この他にも左右手首の骨折、右膝のお皿が真っ二つに割れる骨折、鎖骨と肩甲骨の骨折、左膝靭帯断裂、肩の脱臼とあばらの骨折は多すぎてケガにカウントしないようになりました。プロでもないど素人の草レースなのに、痛み止めの座薬を入れてレースに出ていました。今思うと完全にバカとしか言いようがありません。そのバカのつけが後遺症で残り、左膝はいつも冷たくて感覚がほとんど無く、左肩はバックプルダウンの筋トレで外れてしまうほど外れ易くなり、たまに出る肩・首・挫骨の神経痛で苦しんでいます。何年か前に清村先生に診ていただいたところ、

椎間板が潰れ私の首は人間の骨の形をしていないそうです。腰にもダメージを残し、あの辛い挫骨神経痛は腰椎すべり症が原因だそうです。チームの仲間は私に劣らずバカばかりなので、モトクロスの合間にはカワサキのゼファーやZRXといった400ccのネイキッドバイクをベースにレーサーを作り、ケガのリハビリ中はモトクロスより衝撃の少ないロードレースに出たりサーキットでタイムアタックを楽しんでいました。この頃の私のバイク道楽は頂点を極めていて、あらゆるシーンを楽しめるように最多で5台のバイクを所有していました。オンロードツーリングにZZR1400やドゥカティモンスターなど、林道ツーリングにはフサベルやKTMなどの外車、ロードレース用にZRX400やZX6R、ZX10R、モトクロッサーはKX450やKX250といった感じでした。

そんなバカな生活はロータリーに入会して娘が誕生したのをきっかけに少し大人しくなります。休みの日は練習やレースに行くより娘と一緒にいたいという気持ちが強くなり、走りに行く回数が激減します。たまにレースには出ていましたが、龍ヶ崎のMX408での仲間のレース中、コースサイドにいた私の目の前で、大きなジャンプの空中で2台が絡み、叩きつけられた一人がピクリとも動かなくなり、首があり得ない角度で曲がっていました。救助のマーシャルがヘルメットを脱がすと、目と耳の穴から血が流れていてとても嫌な気分になりました。救急搬送されましたがその人は病院で帰らぬ人となりました。チームの仲間ではなく知らない人でしたがショックを受けた私は「いずれは我が身か」と強く思い、すぐに家に帰って娘を抱っこしたくなりました。47歳と遅くにできた子でもありまだまだ死ぬ訳にはいきません。この日を境にさすがにレースはちょっと危ないなと思った私はレースを引退することにしました。ロータリーのゴルフの付き合いが増え、仕事ではショップをオープンしたりと忙しくなり、少しずつバイクから離れるようになりました。レース仲間たちも結婚したり子供が生まれたり転職したりといった転機が訪れチームを離れていきました。ピュアテックレーシングは親がかりでレースをする小中学生のジュニア層が増え、メンバーの入れ替わりが進み、オヤジたちの趣味のチームから本気で全日本を戦うストイックなチームへと変わっていきます。メーカーから1年落ちのワークスマシンが供給され、カワサキワークスのチームグリーンのサテライトチームになります。ピュアテックレーシングで全日本を戦ったライダーがカワサキのワークスライダーに出世するなど実績を重ね、今ではカワサキワークスへの登竜門として全日本モトクロスでは有名なチームになっています。ピュアテックは街のバイク屋さんから完全にレース屋へと変わり、20代後半からずっと一緒に遊んでき

た岩淵社長は、セミワークスチームの総監督として全日本モトクロスを全戦、全国を転戦して業界の有名人の一人になりました。

さて私はというと以前にお話ししたことがあります。退職した従業員の不祥事が発覚して会社が傾いた最大のピンチの時期に（レースを辞めた時にレーサーは既に手放していましたが）残っていたツーリングバイク全てと乗用車まで売り払って、地面に這いつくばるような時期を何年か耐え忍び、バイクとは無縁の生活を送っていましたが、皆様のご協力もあって徐々に回復しまして何とかロータリーの会長を務めるまで持ち直すことができました。助けていただいた皆様には感謝の気持ちしかありません。

ロータリアンは数々の道楽を極めた方ばかりです。バイク道楽もその一つで、何人かの方たちから「バイク買ったからツーリングに行こうよ」と声をかけていただき、2回ほどバイクをお借りして参加していましたが、一昨年の暮れに前から一度乗ってみたいと思っていたBMWを安く手に入れました。20年落ちのR1100Sで空ぶかしすると車体が右に持っていられる水平対向エンジンの癖が色濃く残っているバイクで「これか〜」と空ぶかししては感動していました。そしてBMWに乗る以上は原さんにお世話にならない訳にはいかないと思い、去年の夏、原サイクルでR1100Sの後継機種であるR1250RSを手に入れることができました。現在BMWのRシリーズ新旧2台のオーナーです。

そして今、新たな夢が増えました。娘が幼稚園児の時に一度モトクロスの練習に連れて行き、トイレに行くのに仲間の85ccの小さなモトクロッサーの前に乗せて行こうとしたら、音にびっくりしたのか怖いと泣いてしまい乗るのを嫌がったので、まあ女の子だし仕方ないかと諦めていましたが、5年生の時に「後ろに乗ってツーリングに行くか？」と試しに聞いてみたら行ってみたいと言うのです。これはチャンスだと思った私は絶対に怖がらせないように超安全運転に努め日光まで行ってきました。気持ちよくて楽しかったようで秩父・大洗と3回ツーリングに行っています。「大きくなったら乗ってみたい」と嬉しくなることを言うので「16になったらすぐに免許取ってバイク買ってやるから北海道行こうぜ」と言ったら「絶対行く!!」と張り切っています。親子2台での北海道ツーリングが夢の1つとなっています。また娘のギターがだいぶ上達してきたので、親子でバンドを組んでライブをやると言うのがもう1つの夢でもあります。

そして今、オートバイ編の原稿を書いていたら筑波選手権が気になって調べてみたら、以前出ていたSPクラスとNKクラスはTC400/TC250というクラスに変わっていました。今年1回目の筑波選手権の決勝タイムは1分4秒台がぶっちぎりの優勝。ピリが10秒台で

中盤から後ろが6秒から9秒台と結構幅があったので、今すぐは無理ですがジムで体を絞り何か月か走り込めば、私でも4スト250ccで10秒は切れるんじゃないかと思いました。8秒台が出れば何とかレースにはなるので、会長職で精も根も尽き果てた今の私には最高のリハビリになるのではと思います、密かに筑波でサーキット復帰を目論んでいます。4スト250ならパワーもさほど無く回し切れて安全だし、ベース車は何にしようか、ホンダCBR250RかカワサキZX250Rのどちらかだとかレーシングパーツを検索して楽しんでいる今日この頃です。以上で私について語るシリーズはオートバイ編を以て完結となります。長い間お付き合いいただきありがとうございました。

幹事報告

幹事 北林 隆一

幹事報告させていただきます。

先週ゲストで越谷南RCと越谷青年会議所の皆様のご案内いたしました7/7「越谷スカイランタン祭り」ですが、企業協賛を引き続き受け付けているそうです。社名入りランタンが用意されるそうです。協賛希望の会員はクラブで取りまとめて送金いたしますので本日中に事務局までお願いします。(1社一万円・領収書は後日)

来週はいよいよ最終例会です。ご出席の皆様よろしくお願ひいたします。

以上幹事報告でした。



【奥の細道 芭蕉】(取残し)

おもしろうて やがて悲しき 鶺舟かな
鶺飼はいざり火を焚き、とても風情があるものである。また、鶺たちが次々と鮎を捕る姿もおもしろいものだ。それだけに今までの楽しいひと時が終わってしまと、寂しい気持ちになってしまう。
(出席委員会)

スマイル報告

社会奉仕委員会 田中 基章

今 回	17,000円
累 計	577,500円

次の例会の案内

第1738回 6月29日

最終例会
(山の上ホテル)

2022～23年度 クラブ協議会

(SAA/会計/会計監査/
奉仕プロジェクト部門/
ロータリー財団/米山記念奨学)

■SAA 会場監督

会場監督は例会場の秩序と品格を保持する任務です。上半期および下半期において皆様のご協力により任務を遂行することができました。ありがとうございました。

大野 豊次



■会計

会計の任務は、最終例会等、6月末日までの収支が完了するまでは終了致しません。管理協力を頂いているポラリス税務事務所の隅田会員にも協力を頂き、出来るだけ早期に収支を閉め、会計監査の阿部会員に監査頂き皆様に報告ができるよう努力致します。事務局、税務事務所はじめ皆様には、一年間ご協力ありがとうございました。

小暮 進勇



■奉仕プロジェクト部門

皆様こんにちは。奉仕プロジェクト部門委員長の佐久間です。

小林年度ではコロナも落ち着き、全ての事業を滞りなく終えることができました。中でも、社会奉仕の地区補助金で大口枠を獲得でき、キッズドロップへ大型モニターを寄付できたことは大きな成果だと思います。次年度の活動にも東クラブの良いところを引き継げたと思います。一年間ありがとうございました。

佐久間 誠

代理 北林 隆一



■社会奉仕委員会

社会奉仕委員長の田中です。

社会奉仕委員会の活動は大きく3つ行いました。

1つ目は、地区補助金事業です。

大口補助金のプレゼンは、5月に開催され会員の皆様のご協力により採択されました。事業としては、知的障害・発達障害児童、生徒の放課後デイサービスを提供している施設『Kidsドロップ』さんへ大型モニター等を寄贈しました。施設の方々、児童・生徒に大変喜ばれ寄贈式では大勢の方々にご参加いただきお手紙や寄せ書きも頂き、我々もとても嬉しく良い奉仕活動が出来ました。

2つ目は、越谷市民まつりです。

今回は、初めての分散開催により当クラブは越谷レイクタウン見田方遺跡公園での会場となりました。当日は、多くの観客にお越しいただき、大道芸交通遺児チャリティ募金を越谷東インターアクトクラブさんと一緒に募金活動をしました。

会員の皆さま、越谷東インターアクトクラブの皆さまのご協力で多くの募金が集まり大変有意義な活動になりました。

3つ目は、第21回越谷市高校野球大会です。

叡明高校吹奏楽部、合唱部の生徒によるアトラクションで大会を盛り上げて頂き、決勝戦では、越谷東高校VS叡明高校の延長戦による感動の決勝戦となり記憶の残る大会になりました。これも会田さんを中心に社会奉仕委員の方々、会員の皆さまのご協力により大会が開催されましたこと心より感謝申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました！

田中 基章



■国際奉仕委員会

6月24～26日の日程で、姉妹クラブである台中港RC社長交代式に、総勢10名で参加して参ります。コロナ禍の影響で4年ぶりの参加となりますので、国際交流を図ってきたいと思っております。

メルボルンの国際大会への参加は、残念ながら実現できませんでした。次年度に期待いたします。

宮下 智之



■青少年奉仕委員会

畔上 順平

代理 小暮 進勇

当委員会では、コロナ禍で接触が少なくなってしまった、越谷東高等学校のインターアクトクラブを中心に、次世代を担う地元の青少年少女に社会奉仕、地域貢献のきっかけとなるアクションを起こし、奉仕と貢献の喜びの一端を感じてもらうことを実践して参りました。



今期前期での実績として

- ①9/20に東高校へ訪問、小林会長からも気合を入れてもらいました。
少しずつ接触を増やしなが、次年度も含めてお互いの例会に出席をすることを約束しました。
- ②10/23 3年振りに市民まつりでの交通遺児募金を行い、久しぶりの活動の中で13万円以上の寄付金を集めることが出来ました。その後この募金を県庁の方へ届けました。
- ③11/5の合同例会地区チャリティーコンサートでは、ポリオ撲滅の募金活動にも参加いただきました。
- ④5/28に開催された、商業×福祉のイベント「フラットロケーション」では見田方公園内にて、あしなが募金の活動を行いました。
今後も東高校との関係を一層深め、彼らと共に社会に貢献することの喜びを分かち合いたいと思います。

また、次年度から交換留学生の受け入れが再開される事が決定しました。

我がクラブの田中会員の息子さんとの交換留学生として、イタリア人のマルコ・ガッツォーラ君が8月に来日予定です。現在叡明高校と準備を進めておりますが、クラブとしては、ホストファミリーを募集しております。皆さんの予定を記入してもらう週末カレンダーも作成予定です。是非ともご協力をお願い致します。

■ロータリー財団委員会

大内 一幸

「ロータリー財団の使命」はロータリアンが（世界の人々の）健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。（国際ロータリー 財団ハンドブックより）



本年度も、この抽象的な表現を出来るだけ会員皆さまに少しでも具体的な表現で表し、理解していただくことを目指して活動してまいりました。

11月のロータリー月間には、地区財団部門の工藤ポリオ委員長に、国際ロータリーの「財団」に関する最新情報を、また1月には円安基調によるロータリー・レートの高下に対応する会長主導の会員フォーラム例会を実施いたしました。

暫定値ではありますが 財団寄付年次寄付は ¥935,255（昨年度積立金+個人寄付青木様、清村様、大野祐肇様）（6,654.03ドル）

恒久基金寄付は ¥140,000（小林会長）（1,000ドル）

ポリオ寄付 ¥468,209（3,490.99ドル）

となります。

一年間お疲れさまでした！

退会のご挨拶



NTT東日本 野寄 新吾

この度、異動することになり、残念ながら越谷東ロータリークラブを退会させていただくことになりました。

2年間という短い期間であったことに加え、コロナ対策やリモートワーク等も重なり、皆様と直に触れ合わせていただく機会が少なかつたにも関わらず、心温かく受け入れてくださりまして誠にありがとうございました。

皆様とご一緒させていただき、ロータリークラブの様々な活動を通じて地域社会の発展に貢献されていることを知ることができました。

高校野球の運営のサポート等に参加した際、球場のスコアボード裏によじ登って旗を掲揚する役割を担わせていただいたことも良い思い出であり、皆様の活動が地域に貢献していることを実感できる良い機会にもなりました。

皆様にお許しをいただけるのであれば後任者にも入会を推奨しますので、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2年間、誠にありがとうございました。

